

## 平成 26 年外国人旅行者県内受入実績調査の結果について

### 1 調査方法

- ① 宿泊者数：観光庁宿泊旅行統計（確定値）、従業者数 10 人以上施設が対象
- ② 立寄者数：立寄 18 箇所へのアンケート調査（県観光交流課調べ）

### 2 調査結果

受入延人数 68,217 人 前年比 137.1%、18,462 人増  
(平成 22 年（震災前）比 70.8%、28,086 人減)

国際青年会議所アジア太平洋エリア会議（ASPAC）などの大規模イベントの開催や台湾からのチャーター便運航、トップセールス等の誘客プロモーションの効果などにより、いずれの国及び地域でも昨年より増加している。特に、タイ・シンガポール・マレーシアなどアセアンについては大きく伸びている。

一方で、大震災前の水準には至っておらず、その要因としては、原発事故等の影響が完全には払拭されていない影響が考えられる。

#### 【主な市場別】

##### (1) 台湾

受入延人数 33,584 人（前年比 122.1%、6,069 人増）  
(平成 22 年（震災前）比 56.0%、26,435 人減)

10 月及び 11 月に山形空港（8 便）及び庄内空港（2 便）へインバウンドチャーター便が運航されたほか、円高の是正などにより、前年比 122.1%（平成 22 年（震災前）比 56.0%）の 33,584 人となった。

##### (2) 中国

受入延人数 5,087 人（前年比 114.6%、650 人増）  
(平成 22 年（震災前）比 73.2%、1,864 人減)

スキー旅行者及び商用客等の個人観光客の増加により、前年比 114.6%（平成 22 年（震災前）比 73.2%）の 5,087 人となった。

##### (3) 香港

受入延人数 3,639 人（前年比 204.6%、1,860 人増）  
(平成 22 年（震災前）比 38.7%、5,773 人減)

ASPAC 開催や個人旅行者の増加により旅行者数が増え、前年比 204.6%（平成 22 年（震災前）比 38.7%）の 3,639 人となった。

(4) タイ、シンガポール、マレーシア

受入延人数 3か国合計 5,017人(前年比193.3%、2,421人増)

(内訳) タイ 3,335人(前年比169.3%、1,365人増)

(平成22年(震災前)比702.1%、2,860人増)

シンガポール 934人(前年比237.7%、541人増)

(平成22年(震災前)比92.5%、76人減)

マレーシア 748人(前年比321.0%、515人増)

ASPAC開催や査証(ビザ)要件の緩和等により旅行者数が増え、前年比193.3%の5,017人となった。

平成26年 外国人旅行者県内受入実績調査結果

調査対象期間:平成26年1月～12月

調査対象施設:県内宿泊施設(従業者数10人以上)(出典:観光庁宿泊旅行統計(確定値))、立寄18箇所(県観光交流課調)

(1)国別内訳

(単位:人)

	合計	台湾	韓国	香港	中国(香港除く)	アメリカ	オーストラリア	タイ	シンガポール	マレーシア	その他
宿泊者数(※1)	37,840	11,730	3,300	1,970	4,630	3,670	1,360	1,670	800	570	6,460
立寄者数	30,377	21,854	1,303	1,669	457	517	120	1,665	134	178	2,480
合計(延人数)	<b>68,217</b>	<b>33,584</b>	<b>4,603</b>	<b>3,639</b>	<b>5,087</b>	<b>4,187</b>	<b>1,480</b>	<b>3,335</b>	<b>934</b>	<b>748</b>	<b>8,940</b>

(参考)

H25年受入数	49,755	27,515	3,505	1,779	4,437	2,680	871	1,970	393	233	5,922
受入数比(H26/H25)	<b>137.1%</b>	<b>122.1%</b>	<b>131.3%</b>	<b>204.6%</b>	<b>114.6%</b>	<b>156.2%</b>	<b>169.9%</b>	<b>169.3%</b>	<b>237.7%</b>	<b>321.0%</b>	<b>151.0%</b>
H22年受入数	96,303	60,019	7,787	9,412	6,951	3,103	475	475	1,010	-	6,831
受入数比(H26/H22)	<b>70.8%</b>	<b>56.0%</b>	<b>59.1%</b>	<b>38.7%</b>	<b>73.2%</b>	<b>134.9%</b>	<b>311.6%</b>	<b>702.1%</b>	<b>92.5%</b>	<b>-</b>	<b>130.9%</b>

※1 宿泊者数の合計には国籍不明者が含まれるため、国・地域別の宿泊者数を足上げた数値と一致しない。

※2 平成25年調査より、宿泊者数は観光庁宿泊旅行統計を用いている。比較の便のため、本表の平成22年の数値も宿泊者数について観光庁宿泊旅行統計を用いたため、県独自調査による下記参考の数値とは一致しない。

※3 マレーシアについては平成25年より集計(それ以前は「その他」に含まれる)。

(2)受入地域別内訳(宿泊者数と立寄者数の計)

	合計	台湾	韓国	香港	中国(香港除く)	アメリカ	オーストラリア	タイ	シンガポール	マレーシア	その他
村山	35,161	18,138	2,572	1,821	2,466	1,676	849	2,247	395	437	4,560
最上	5,788	4,955	106	421	38	51	22	27	23	0	145
置賜	4,562	2,108	133	85	329	572	60	481	157	72	565
庄内	10,440	5,168	757	684	794	877	57	102	98	28	1,875

※ (1)の宿泊者数は調査票未回収分について推算しているが、(2)の宿泊者数は調査票回収分の足し上げであるため、各数値は一致しない。

<参考:平成25年及び平成22年の調査結果>

○平成25年(1月～12月)

	合計	台湾	韓国	香港	中国(香港除く)	アメリカ	オーストラリア	タイ	シンガポール	マレーシア	その他
宿泊者数	29,070	11,460	2,750	1,180	3,710	2,180	840	800	360	190	5,150
立寄者数	20,685	16,055	755	599	727	500	31	1,170	33	43	772
合計(延人数)	49,755	27,515	3,505	1,779	4,437	2,680	871	1,970	393	233	5,922
対前年比	133.5%	143.3%	107.6%	136.1%	130.8%	97.9%	207.4%	326.2%	75.7%	-	104.8%

県内宿泊施設(従業者数10人以上)(出典:観光庁宿泊旅行統計(確定値))、立寄18箇所(県観光交流課調)

○平成22年(1月～12月)

	合計	台湾	韓国	香港	中国(香港除く)	アメリカ	オーストラリア	タイ	シンガポール	その他
宿泊者数	40,049	20,240	6,303	6,519	1,093	1,938	776	188	423	2,569
立寄者数	43,673	37,739	947	2,692	651	323	15	335	240	731
合計(延人数)	83,722	57,979	7,250	9,211	1,744	2,261	791	523	663	3,300
対前年比	139.5%	131.3%	210.8%	191.1%	141.4%	163.8%	210.4%	76.7%	114.7%	98.4%

※県観光交流課調